

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (甲信越)		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・冬支度が始まり、注文が増えてきている。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・葬儀の依頼が過去最高である。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・エアコン、冷蔵庫、洗濯機等の白物家電の動きが少し良くなってきている。また、リフォーム関係も多少出てきている。
		自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・廉価品を求める客が多いなか、高付加価値の高額品や新商品の売行きも良い。街中で外国人観光客も見掛けるようになってきている。また、県外ナンバーの車も、観光地ではなく、市街地で増えてきている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・前年より客単価、来客数共に良くなっている。不景気な話をしている客は、本当に少なくなっている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・今月初めは多少売行きの良い日もあったが、秋雨前線と台風による長雨で、来街者がぱったり途絶え、売上も低いレベルとなっている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・これといって悪い方に変わっているとも感じられないので、若干上向き基調になっていくのかもしれないが、特に変わりはない。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・売上の前年割れが続いている。下げ止まりを実感できない。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・客の来店動向は変わらない。新規、フリー客が増えることはほとんどなく、固定客の実績で売上が左右されている。固定客の大口入金の有無で、前年比が大きく変わる場合があるのも事実である。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・店頭販売は変わらないが、外販が増えたので、売上は増えている。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・既存店舗の来客数の減少や食中毒〇157関連報道の影響で総菜は苦戦している。青果などの相場安は続いている。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・1品単価は上がっているが、競争激化で来客数は大きく減っている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年に比べ、集客が減少傾向にある。客単価を上げる努力によって、前年並みで推移している現状である。
		乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・新車販売は、成約までに時間がかかっており、他店との競合もあり、仮に成約しても利益が少ない。また、自動車メーカーの不正検査問題で、成約までもう一步のところまで来ていた商談が破談になるケースも出た。車検、一般修理は目標を達成し、スタッドレスタイヤの問い合わせも増加している。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・期待していたデスティネーションキャンペーンも前月までで終了し、観光客はいまだに増えていない。最近では社会人の昼食客が増えているものの、家族連れの動きは相変わらず鈍い。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・悪い状態で変わらない。また、客の動きがとにかく悪い。
		観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・紅葉シーズンを迎え、予約状況はおおむね好調だったが、度重なる台風の影響によるキャンセルが痛手となっている。
		都市型ホテル（支配人）	競争相手の様子	・当ホテルの宿泊料金は通年同額であるが、他のホテルはインターネット予約料金を日々の予約状況によって上下させる傾向が多くみられる。これにより県外から市内への入込状況がおおむね分かるが、相変わらず宿泊料金の変動が激しく、景気が良くなっているとは判断できない。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・衆議院選挙があり、企業を含めた動きが悪い。さらに、台風等の影響で、来客数が減っている。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・インターネットサービスは、他通信事業者の営業強化などで、乗換える客も増えつつある。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・長雨の影響で来客数が減少している。客は髪を切っただけにしたいというニーズはあるものの、季節のイベントや仕事等で時間が取れず、なかなか来店してくれない。	
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・仕事の依頼は引き続き増えており、計画が間に合っていない。	

	商店街（代表者）	単価の動き	・物価がいろいろと上がってきてしまい、とても売りにくい状況で、不景気である。競争の時代だが、仕入価格も高くなってしまっているため、とても大変である。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・今月は長雨、台風など週末の天候が悪く、来客数に影響が出ている。	
	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・天候不順の影響もあるが、全体的に消費が冷え込んでいる。季節商材の動きも今一つである。	
	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・働き方改革などで残業が減り、実質的所得の減少がみられ、生活防衛的な低価格志向が強くなっている。	
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今月後半は、毎週末台風が来るような状況で、大雨も降り、客足が遠のき、来客数は非常に少なく、販売量が減ってしまっている。その上、気温も急に下がって、季節の変わり目となり、売る物と客のニーズが合わない状況である。	
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は、イベントや天候に関係なく増えない。購買点数よりも純粋に来客数が増えないところに限界がある。	
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・天候の影響もあるが、近隣に競合店が出来たため、来客数が減っていることが一番大きい。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・行楽シーズに衆議院選挙、悪天候が続く、全く動きが悪い。	
	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・秋の長雨が続き、予約が増えてこない。また今年は当地産の松茸が大不作で、単価の高い松茸コースを販売できず単価が上がらない。台風21号の影響でキャンセルが出たり、停電等で客を断ったため、売上は更に減っている。	
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・数か月前から予約が落ち込み、また今月のフリー客も減少し、前年と比べて非常に悪くなっている。選挙があると、必ず客足が鈍り大幅に落ち込むが、今月も同様で、既に悪い状況のなかで、更に落ち込んだので非常に厳しい。	
	旅行代理店（副支店長）	販売量の動き	・衆議院選挙、市長選挙と2週連続で週末に選挙があったため、受注は明らかに減少した。海外旅行は世界情勢も不安定なため、渡航先が限定されるなど、業界にとって良い材料がない。	
	遊園地（職員）	来客数の動き	・台風の影響により、来客数が減少したため、やや悪くなっている。	
	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・梅雨のような長雨、さらに、冷たい雨のため、年配客の多い当コースではキャンセルが非常に多く、近年で最低の来場者数となっている。	
	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・細かい金額の要求が以前に比べて多くなってきている。利用者が高齢化し、蓄えていた資金を切り崩しながら使っていることが要因である。	
	×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車メーカーの不正検査問題で、新車販売が止まってしまい、新規客の動きが全くなっている。
	×	乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・寒さが例年より早く訪れたこともあり、冬衣料の購買意欲は順調に推移している。一方で、野菜や果物は台風の影響もありやや高く、消費は下降傾向である。AIを搭載した安全性機能の充実を図っている自動車の購買意欲はあるものの、販売はやや下落している。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・天候不順が相当影響しているだろうが、今月に入って売上が極端に落ちている。
企業 動向 関連	金融業（調査担当）	取引先の様子	・県内企業の景況感は改善している。業況判断DIが製造業で前期に比べて改善し、プラス水準を維持している。	
(甲信越)	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・今月は天候不順が続き、見学者は減少したものの、新酒の販売が大きく貢献し、前年をクリアしている。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・例年並みに年末商材の受注はある。さらに、特注品や店頭商品の受注も伸びている。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・展示会の売上は回復してきているが、問屋は相変わらず仕入れを抑えており、前年と比べて多少の伸びにとどまっている。	
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・地元観光業は中国の旅行会社への規制もあり、団体客から個人客に変わってはいるものの、全体的な外国人観光客数は変わらない。乗用車販売、食料品関連は引き続き堅調である。衣料品関連も持ち直しの動きがあり、国内景気は徐々にではあるが、良くなっている。	

	食料品製造業 (製造担当)	取引先の様子	・今月大手スーパーが理由は明かさずに撤退した。元々地代のかかる場所でのスタートだったため、利益が出ないと厳しかったのではないかと。販売点数には限界があり、利益の取れない価格競争は、お互いの首を絞める。前年から廃業した卸売、小売業は4件になり、当社も売上確保が厳しくなっている。
	電気機械器具製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・業種によって良いところ、悪いところの差が出ている。
	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・現在、受注量は順調に伸びている。
	新聞販売店[広告](総務担当)	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は前年比96.7%である。当地では衆議院選挙と市長選挙があり、選挙関連の折込チラシが含まれており、これを除くと89.5%である。一方、冷え込みや長雨が続き、紳士服専門店や百貨店では、コート等の冬物の動きが好調と聞いている。
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・以前に比べ受注が少ない。受注があっても部品の納品が悪く効率的ではない。短納期のため受注機会を逃すことがある。
	x	*	*
雇用関連	職業安定所(職員)	求人数の動き	・半導体関連製造業を中心に、派遣を含む求人数が増加しており、求人倍率は毎月上昇している。
	*	*	*
(甲信越)	人材派遣会社(営業担当)	雇用形態の様子	・雇用条件が厳しいことや合否に慎重であるため、採用に1か月ほどかけている企業がある。
	求人情報誌制作会社(経営者)	周辺企業の様子	・今月は年末に向けて季節的な募集が目立っている。地元大手食品メーカーの年末贈答品生産に伴うパート、アルバイト募集や宅配会社の募集が多く、特に折込チラシによる募集が目立っている。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人数は前年同月比6.2%増である。建設業では販路拡大を図るため営業拠点を増やしている企業から技術者、営業などの大口求人がみられる一方で、離職者の補充に苦慮する企業も目立つ。卸売、小売業では新規出店を見据えた大口求人があった。求職者については同3.8%減であるが、そのうち在職者は6.3%増加している。
	民間職業紹介機関(経営者)	求人数の動き	・求人をつねに引する製造業では、求人は増えてきているものの、正社員求人には変化がなく、採用基準の引下げも少なく、充足できない状況が続いている。
	-	-	-
	x	-	-